

# アルビクス・ARIB STD-B39 信号検知装置 B39-108R Rev.02

## 特 長

- ◇HD-SDI信号の放送局制御信号(ARIB STD-B39)、または SCTE104 を検知する装置です。
- ◇検知は系統ごとに指定できます。
- ◇放送局制御信号は、任意のワード番号、ビット番号の制御データを検知し、変化の状態<sup>※1</sup>を SNMP で外部通知します。
- ◇SCTE104 は、splice\_request\_data()を検知し、変化の状態<sup>※1</sup>を SNMP で外部通知します。
- ◇筐体は2Uサイズです。
- ◇棚板方式で、最大8系統を搭載することが可能です。
- ◇各系統は、個別に動作します。各入力が同期している必要はありません。
- ◇電源は二重化されています。

※1 検出できる変化の最大値は15回/秒です。

## 仕 様

- ◆入力信号
  - 信号数 : 1系統
  - 信号形式 : HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
  - コネクタ : BNCコネクタ
  
- ◆バッファスルー出力信号
  - コネクタ : BNCコネクタ 1系統
  
- ◆ARIB STD B39
  - 検知指定 : 検知する制御データは、ARIB STD-B39 のワード番号、ビット番号で任意に設定します。指定は系統ごとに16箇所まで設定できます。
  
- ◆SCTE104 :
  - ①検知した SCTE104 データを、そのまま外部通知します。
  - ②splice\_request\_data()、alive\_request\_data()については、検知した内容を解析し、以下の値を外部通知します。
    - splice\_request\_data() : messageSize, message\_number, opID, splice\_insert\_type, splice\_event\_id, unique\_program\_id, pre\_roll\_time, break\_duration, auto\_return\_flag
    - alive\_request\_data () : messageSize, message\_number, opID
  
- ◆外部通信
  - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース [RJ-45 モジュラコネクタ]
  - プロトコル : HTTP(本体設定)  
SNMP(検知通知)
  
- ◆電源
  - 電源電圧 : 100V AC ±5%
  - 消費電力 : 約69W
  
- ◆使用温度 : 5°C ~ +40°C 結露なきこと

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります

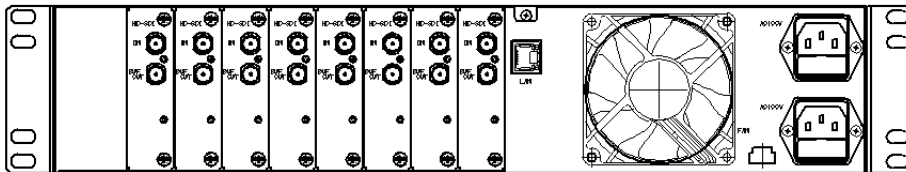
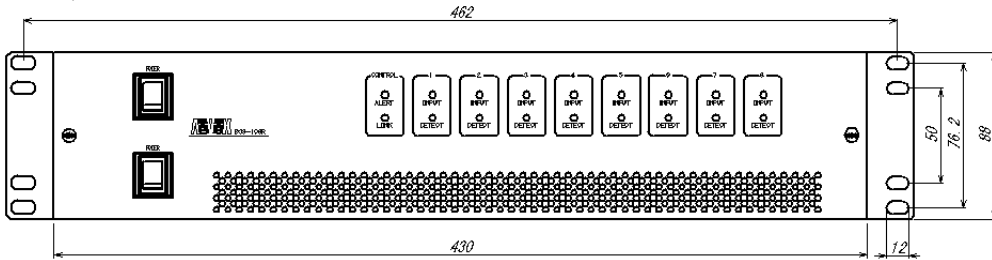
【型番】 B39-108R	アルビクス株式会社	【整理番号】
------------------	-----------	--------

◆その他

- 電源二重化 : ホットスワップ可能
- ボード挿抜 : ホットスワップ可能(コントロールボードを除く)
- ラックマウント : 専用取り付け金具により、EIA 2U/JIS 2J として取り付け可能です。

外形

◆外観



◆外形寸法 : H88mm×W430mm×D275mm (突起を含まず)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります

【型番】

B39-108R

アルピクス株式会社

【整理番号】